

神奈川県立麻生支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立麻生支援学校における学校運営協議会		
開催日時	令和6年2月16日(金)		
開催場所	神奈川県立麻生支援学校会議室及びオンラインで繋ぐ各会場		
(役職名) 出席者	(会長) 佐藤委員、(副会長)岡本委員、久保田委員、小牧委員、谷委員、永石委員、山口委員、山崎委員 <学校職員> (副校長) 山岸、(教頭) 森本、原島、(事務長) 田村、(総括教諭) 松岡、寺山、杉本、宮澤、藤原、栗澤、小川、鈴木		
次回開催予定日	令和6年5月 予定		
問合せ先	所属名：麻生支援学校、担当者名：森本 智子 電話番号：044-980-4855 ファックス番号：044-986-2517		
下欄に掲載するもの	・ 議事録	議事概要とした理由	
会議経過	<p>1 開会 2 挨拶 (麻生支援学校 山崎校長) 3 協議会 <学校評価部会> (1) 副校長より、令和5年度学校評価(最終報告)について説明。1年間の学校目標に対する保護者と教員のアンケート結果から、良い評価、課題、要望など、見えてくるものを共有。 (2) (1)についての意見交換 ・保護者の表明に対して、教員がどう感じたか。「わかった!できた!」については94%という最上級の肯定的評価。 ・「支援学校に変わった」ということを実感してもらう教育をするために、校内研究でも取り入れ、教員は意欲的に取り組んできた。</p> <p><切れ目ない支援部会> (1) 「つながるあさおプロジェクト」の取組に係る最終報告総括教諭よりスライドとともに説明。 (2) グループ協議・共有 テーマ「来年度また続けていきたい取組」「新たにやってはどうかということ」について視点①・②グループ、視点③・④グループに分かれて協議</p> <p><u>視点①・②グループの協議より</u> ・中学校段階からの通学練習は、保護者や支援級の担任と連携するなど、早い段階で進めるべき。→地域から入学する生徒には春休み中の練習を勧めている。校内では今年度から中学部の練習が始まった。各所の連携が必要。 ・医ケア児通学支援事業については、幅広く支援者に通知していくことが必要。 ・ICTと移行支援事業所を活用してもらうことで、教員の助けになれないか。→個人情報保護の観点で精査が必要。 ・学部内の工夫として1日の内容を学部長がまとめ、ノートに貼るだけになっている。担任のコメントは一言のみで、その分生徒に向き合える。</p> <p><u>視点③・④グループの協議より</u> ・積み重ねの授業と、してもらっただけでなく喜んでもらうという実践が良い。 ・コンサートや作品展示など、協働できることはないか、これからも探りたい。 ・防災訓練の連携、非常時のスクールバス運行など、校内で検討し相談したい。</p>		

<学校評価部会>

(1) 副校長より、令和6年からの4年間の目標と方策について説明。11月に教員全体に説明をし、意見を出し合い、総括教諭がまとめ、管理職の意見をふまえてできた内容。「児童・生徒の五感に働きかける教材作り」「一人1台端末の活用」「他者を大切に思いやり、かかわる力を育てる」「関心や得意なことを生かした成功体験の積み上げ」「大学との連携を模索。専門性を生かした学びへ」「児童・生徒への丁寧なかかわりのスタンダードの内容の充実」「関係機関と連携した防災教育」などに取り組む。→意見等なし。これで進めていく。

4 委員からの言葉

- ・虹ヶ丘子ども文化センターへの協力に感謝。今後も学校の催しに参加したい。
- ・報告の映像や実際の言葉から生の感覚を得た。教員も五感を使うことが大切。
- ・地域の方のご尽力に感謝。学校生活が安心な分、卒業後の不安をより感じる。
- ・卒業生・保護者の声を是非聴いてほしい。地域が違って見え、安心できるはず。
- ・教員は自己評価が厳しめ。教師が疲れると児童・生徒に悪影響。根詰めないで。
- ・外に出る機会が増え大変だが、社会が考える契機になる。良い一歩。

5 会長の言葉

1年間のご尽力に感謝。子どもを真ん中に置いた取り組みができていた。「わかった！できた！」からはじめることや、地域を第2の教育の場とする取り組みは、特別支援学校のミッションに即して進められている。それを支える教員の業務改善がこれからの課題。気がついた時にその都度 PDCA を回していくことが大切。新しい協議形式を今後取り入れられると良い。

6 事務連絡

7 校長の言葉

今年度の学校評価についてと、令和6年度からの4年間の学校目標について、ご審議いただき、ご承認いただいたことに感謝。学校が外に向かって活動を広げてきた。委員の皆様からご助言いただいたことを次のステージに向けてどのように社会へ発信していくかが課題であると気づくことができた。協議会で複数の部会を持つことについては、会長からご助言をいただきながら、次年度に向けて精査して取り組みたい。

8 閉会

以上